

北大生が企画開発したミュージアムグッズ販売のお知らせ

【概要】

北海道大学総合博物館にある「ミュージアムショップぽとろ」では、本学学生が企画開発したオリジナルのミュージアムグッズの販売を開始しました。新たに販売を開始したのは「総合博物館タンブラー」と「まなびのむすび」（巾着・3種）です。また、それぞれのグッズには、教員の監修を受けて学生が執筆したモチーフの解説シートも付されています。その他に、ショッパーと学生企画グッズのロゴも学生が開発しました。いずれも、学生教育の一環として取り組んだ成果です。学生の発想から生まれたミュージアムグッズを、ぜひショップでご覧ください。

【趣旨】

北海道大学大学院の授業「博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価」（担当：総合博物館 湯浅万紀子教授）の受講生13名が、本学総合博物館オリジナルのグッズを開発しました。

「総合博物館タンブラー」は、2名の大学院生と1名の学部生が企画開発しました。タンブラーのシートには表と裏にそれぞれ「標本ラベル」と「研究者のトランク」のデザインが印刷されているため、気分にあわせてデザインを選ぶことができます。どちらも総合博物館らしいシックなデザインに仕上がりました。

また、学生達のアイデアはカフェとの連携企画に発展しました。本タンブラーには「ミュージアムカフェぽらす」でご利用いただける無料の1ドリンク券（コーヒーまたはカフェラテ）がついています。さらに同カフェで本タンブラーを利用すると、毎回、コーヒーまたはアイスコーヒーの増量サービスを受けられます。



「標本ラベル」と「研究者のトランク」シートは入れ替え可能（1,000円＋税）

「まなびのむすび」は、5名の大学院生が企画開発しました。「まなびのむすび」という名称には、学びの場として総合博物館を見学していただいた終わり（まなびのむすび）にショップで巾着を選ん

で持ち帰っていただき、巾着を使用することで、来館者と制作した学生、来館者と総合博物館を結びたいという思いが込められています。

デザインは次の3種類です。研究の成果だけでなく、その営みに思いを馳せていただきたいと、古生物学を例にして研究の始まりを道具で表現したデザイン。海藻分類学の拠点である総合博物館の貴重なコレクションとその歴史ある研究の一端をご紹介したいと海藻標本をモチーフにその色も意識したデザイン。そして、1909年に建造された歴史ある博物館の建物のなかでも印象深いアインシュタインドームの4点のレリーフをモチーフにしたデザインです。博物館での時間を思い出していただきながら、皆様それぞれの「まなびのむすび」の使い方を見つけていただければ幸いです。



「まなびのむすび」（巾着）のデザインは道具、海藻、建物の3種類（各450円+税）

ショッパー（通常版とギフト用（小サイズ100円・大サイズ150円））は5名の大学院生が、博物館のイメージ調査をもとにデザインしました。グッズと同様、ショッパーはショップ展開の大事な要素です。シンプルながら一目で総合博物館と分かり、大事にとっておきたくなる、そしてプレゼント用にラッピングしたくなる仕上がりです。

なお、この5名は学生企画グッズのロゴもデザインしました。「鉱物蠟燭」をはじめ、この春以降に販売開始した学生企画グッズには、このロゴがついています。ショップに並ぶ魅力ある多数のグッズのなか、ぜひこのロゴのついたグッズにも注目していただきたいと思います。



下左から時計回りに、学生企画グッズのロゴ、ギフト用ショッパー（小サイズ）、通常版ショッパー

他にも、本授業からは「鉱物蠟燭」、「デスモスチルス USB」、「クマのマスキングテープ」「Go-to Museum トートバッグ&缶バッジ」（トートバッグ1種、缶バッジ6種）、「ぽけっとミュージアム」（ハンドタオル3種）など、数々の人気グッズが誕生しています。「ミュージアムショップぽとろ」で販売していますので、こちらをあわせてご覧ください。

【授業詳細】

2018年度理学院専門科目・大学院共通科目「博物館コミュニケーション特論 III ミュージアムグッズの開発と評価」

■「総合博物館タンブラー」

<担当学生>遠藤 優（理学部），清水美帆（大学院工学院），楊 朝暉（大学院文学研究科）

<監修・協者>江田真毅・大原昌宏・山本順司（総合博物館）

<指導教員>湯浅万紀子（総合博物館）

■「まなびのむすび」（巾着・3種）

<担当学生>相澤明香里（大学院環境科学院），神田いずみ（大学院文学研究科），

雲中 慧・鈴木 花・山本茉奈（大学院理学院）

<監修者>阿部剛史・小林快次（総合博物館），池上重康（大学院工学研究院）

<指導教員>湯浅万紀子（総合博物館）

■ショッパーおよび学生企画グッズロゴ

<担当学生>野瀬紹未・近藤喜十郎（大学院文学研究科），

安藤瑞帆・細谷祥央・濱崎瑠菜（大学院理学院）

<指導教員>湯浅万紀子（総合博物館）

グッズ開発の経緯を伝える授業の様子は、総合博物館のウェブサイトで紹介しています。

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/cat/lesson/communication3/>

【販売場所】北海道大学総合博物館 1階 ミュージアムショップぽとろ

札幌市北区北10条西8丁目（JR札幌駅北口より徒歩10分）

【開館期間】10:00 - 17:00

10:00 - 21:00（6月～10月の金曜日のみ）

【休館日】毎週月曜日，12月28日～1月4日

（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館。その他，大学行事などで臨時開館・休館あり）

【入館料】無料

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（理学・生命科学事務部事務課 博物館担当）

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum@jimu.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp